

D P	C P	1年		2年		3年		4年	
		前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期
A-2 経済理論と実証分析の基礎を理解し、市場の役割と競争や政策的分析の有用性を把握できる。	A-2 経済理論の基礎を学び、経済学的な思考に基づいて現実の経済現象を理解するための初級の理論経済科目と、政策的分析の基礎を理解するための科目を、それぞれ1年次及び2年次を中心に配置する。	△マクロ経済学I ◎経済学入門	△経済数学I △ミクロ経済学I						
A-3 経済政策や経済史、応用経済学の基礎を理解し、現実の経済・社会の姿態を多面的に把握できる。	A-3 現代経済の姿態を歴史的に分析するための経済史科目や、日本経済の現状と課題及び、環境・労働・地理と経済の関係を理解する入門的な経済学科目を、それぞれ1年次より配置する。	民法A 政治経済学	△世界と日本の経済	△経済地理 △経済思想史 環境経済学 労働経済学  政治学原論 I	△経済政策I 社会政策 国際法  アメリカ経済史 △国際経済学 政治学原論 II	△日本経済史 商法 A	△西洋経済史 日本経済論		
A-4 経済学分野及び隣接する分野の知識と技能を、適切に獲得・活用することができる。	A-4 グローバリゼーションの姿態と日本を含む世界全体の諸相を広く学ぶ国際経済や外国語関連等の科目を、1年次より配置する。	△経済英語表現I	△経済英語I Problem Solving Skills for Global Issues I Problem Solving Skills for Global Issues II	経済英語II △時事英語I  △外国語検定 A (2単位) △外国語検定 A (4単位) △外国語検定 B  時事中国語 I 資源経済論 東南アジア経済論 中東経済論 世界経済論 日本史 A 外国史 A 人文地理学A 自然地理学A 地誌学A 現代哲学思想A	経済英語表現II 韓国語会話 中国経済論 アメリカ経済論  日本史 B 外国史 B 人文地理学B 自然地理学B 地誌学B 現代哲学思想B	経済英語III 時事中国語 II 海外直接投資論 韓国経済論	時事英語II 経済英語表現III ヨーロッパ経済論		
B-2 経済学特有の思考方法や身に着けた論議や合理的な意思決定ができる。	B-2 より高度な経済理論を用いて、現実の社会経済を分析する能力を養うために、中級以上の理論経済学科目と、財政・金融・賃金・労働・産業・労働・社会保障等の応用経済学科目を、それぞれ3年次を中心に配置する。			△ミクロ経済学II △マクロ経済学II 経済数学II 国際政治学		△環境政策 △財政学 △金融論 △産業組織論 △社会保障論 公共経済学 地方財政論 △証券投資論 地域開発論 国際金融論 社会思想史 比較経済制度論 国際農業経済論	△経済政策II △労働政策 法と経済学 △医療経済学 発展途上国経済論 国際経済開発論		
B-3 データを科学的に分析し、先入観にとらわれずに客観的な結論を導き出し、自分の考えを表現することができる。	B-3 経済データの特性を理解し、それらを有効に活用するために必要な基礎知識を学ぶとともに、実証分析の基礎と応用について実践的に学ぶ統計・計量経済・簿記・会計関連科目を、2年次を中心に配置する。	△基礎統計学 簿記原理 I	△経済データ分析実習 I 簿記原理 II	△計量経済学I △経済データ分析実習 II 会計学原理I 簿記原理III	△統計学総論 会計学原理 II 簿記原理IV	計量経済学 II 経済統計論			
C-2 経済社会の諸問題を理解し、経済学的な視点で実践的解決法を見出すことができる。	C-2 経済学的な視点を学びながら、少人数で様々なテーマについて協力して研究を行う場であり、コミュニケーション能力を鍛える演習科目を、1年次より配置する。	◎基礎演習I	まちづくり・ひとつくり実習	△基礎演習II マクロ経済学実習 経済情報処理実習 経済英語実習	ミクロ経済学実習				
D-2 経済社会の変化に適切に対応するため、経済学等の理解を通じて今後の見通しを立てることができる。	D-2 経済学の実践的な知識と応用力を身に付け、世界の中での日本経済の課題を解決するための演習科目等を、3年次を中心に配置する。			国際キャリア演習 △金融・ファイナンス実習		◎演習I △キャリアのための資格 (2単位) △キャリアのための資格 (4単位)	△演習II △卒業論文		

※◎は必修科目、△は選択必修科目を表す。